

Dr's message

佐藤 裕・副院長に聞く

4月に再開、元に戻った小児2次救急



町田市民病院
副院長
佐藤 裕

Profile
昭和大学卒。昭和59年から町田市民病院勤務。統括部長。小児科部長を兼務。57才。

4月11日に小児2次救急が再開されました。その後の状況はどうですか。

佐藤 1日平均4件、そのうち救急車が17台で以前に戻っています。再開後で感ずるのは「#7119番」の救急相談センターにかけてからお出でになる方がふえたことです。

東京消防庁の窓口ですね。最初に救急車をよぶ状況かどうか確かめてから「119番」をする？

佐藤 そうです。要請しているかどうかを見極めてよばれるわけです。ルールが守られるようになったと感じています。

よく救急車をタクシー代わりにとか、コンビニ受診と

かわれますが、そういうケースは少ないですか？

佐藤 私たちは一次救急と二次救急を分けて考えています。市民病院は二次救急の患者さんを受けています。一次救急はかかりつけ医に行っていた方がいいと思いますが、その役割が理解していただけているかなと感じています。

以前3人だった小児科のお医者さんが6人にふえました。これで乗り切れると考えていいですか。

佐藤 小児の場合は冬季に患者さんが多いので、余裕をもってやれるかどうかはまだわかりません。

副院長が小児科を志した理由は？

佐藤 大人のがんなら5年生存で「成功」といわれます。しかし例えば小児白血病では5年で「成功」とはなりません。大人になるまで、そして大人になってからも生存しなければ意味がありませんから。そこに生き甲斐があると思いました。

医学的に子どもは大人の縮小したものでしょうか。

佐藤 小児科医として認識のポイントは「子どもは大人の小さいものではない」ということです。例えば診察では大人は上から下に診ますが、子どもは泣かないところから診ます。

なるほど。小児科のお医者さんは子ども好きですか。

佐藤 白衣を見ただけで子どもに泣かれるのですから、「好き」だけでは出来ません。長い間通っていた子どもさんが母になり、お子さんをつれてお見えになるとうれいんですね。患者さんだった女の子が医学部に進み研修にきたときは本当に感激しました。

いい話ですね。息抜きに何を？

佐藤 休日には女房と日帰りのトレッキングをしています。丹沢とか奥多摩の山ですが。

四季折々

※ いしきおりおり ※

▼子どものころ、大人たちのあとについて、「火の用心」といいながら町内をまわった。夕飯とき、拍子木の音を「カン、カン」と響かせて。子ども会で班をつくり、ローテーションを組んでいた。「火の用心」に加えて「公衆衛生守りましょう」のスローガンが続いた▼当時の日本は公衆衛生の観念に乏しかった。お風呂なども近所に「もらい湯」するのが普通で、だれのあとだろうが平気だった。それで病気がうつしないうで育ったのだから、いま考えると不思議だ。やがてトイレも、風呂もきれいになって、日本人は世界でもトップクラスの清潔な国民になった▼スローガンは自然に消えていったが、今度の新型インフルエンザの拡大を追っていると「公衆衛生守りましょう」は地球規模で叫ばなければならないと思う。ウィルスはたちまち世界に広がる。公衆衛生は地球人で共有するモラルだ。

「運営評価委員会」開催

第一回の町田市民病院運営評価委員会が5月27日、開催されました。市民病院の情報を公開し、市民の意見に耳を傾ける第一歩として設けられたもので、主に市民病院の経営状況について話し合われました。委員は市内在住で病院経営に学識経験のある人、市民病院とかかわりの深い人などから6人をお願いいたしました。出席は5人、約1時間半、活発な意見がのべられました。が、病院改革のガイドライン、収益の確保、診療所などとの役割分担、小児二次救急再開後の実績などについて質問が出、さらに救急の充実や医師不足の解消などで貴重な意見がありました。委員会の記録は市民にも公開され、今後の病院経営の参考にさせていただきます。

●委員のみなさん

- 赤星透 (北里大学病院副院長) 木藤一郎 (旭町2丁目町内会長) 佐々木崇 (町田市医師会副会長) 高橋 紘 (静岡福祉大学教授) 増岡和子 (病院ボランティア) 山内芳 (税理士)
- 50音順、敬称略

連載② 救急病院の機能分担とは？

町田市民病院ってどういう病院？

「ピーポーピーポー」最近、「この音をよく耳にします。」

みなさまは、町田市内に「救急病院」がいくつあるかご存知でしょうか？町田市内には、町田市民病院を含め8病院あり、夜間など輪番制で当番病院を決め救急の患者さんに対応しています。



日本の救急医療は、昭和30年代後半からの高度経済成長期に普及した自動車による事故増加(重傷外傷患者の増加)の影響を受け、国から人口100万人にひとつの救命救急センターを設置する方針が示されたことなどにより、本格的に始まったと言われています。

三次救急患者

高度の医療を必要とし、生命の危険がある重篤の方。救命救急センターがある大学病院など(三次救急医療機関)が対応しています。(近隣の病院では、北里大学病院・日医大多摩永山病院など)

その後、救急医療は整備され、救急病院の機能分担を重視するカタチになってきました。基本的な考え方としては、病院の機能により救急の患者さんの症状を3段階に分けて対応しています。

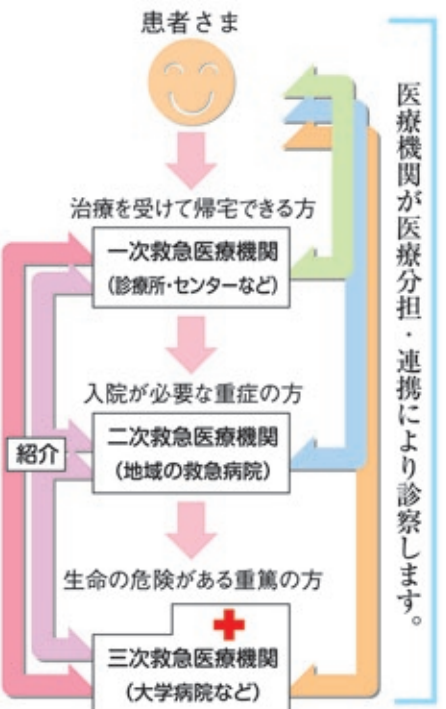
一次救急患者

入院治療を必要とせず外来治療を受け帰宅できる方。対応医療機関としては、診療所が輪番制を組んだり、自治体によってはセンターを設けて担っている場合があります。

(町田市では、小児に対して町田市医師会準夜急患こどもクリニックを開設しています。)

二次救急患者

入院治療が必要な重症の方。都道府県の指定を受けた救急指



このように症状を分ける事で、国が打ち出している診療所との「医療連携」の方針に従い、限られた資源の中で医療機能を提供

担し、医療機関同士が連携することにより効率的で質のよい救急医療を目指しています。

町田市民病院は、東京都から指定を受け、24時間365日開院している「二次救急医療機関」であり内科系・外科系の入院治療が必要な救急の患者さんを中心に対応しています。そして「医師不足」という医療環境の中、医師などの努力により年間2万人を超える救急の患者さんを診察し地域の救急医療に貢献しています。

しかし、時には「一次救急患者」が集中してしまい、二次救急医療機関の当院が診なければならぬ「二次救急患者」(入院加

豆知識

診療所とは
病床数が19床以下の医療施設を言います。
病院とは
病床数が20床以上の医療施設を言います。

「療が必要な方」を診ることができない厳しい現実もあります。今後、このような状況をなくし救急医療を充実させるためには、医療機関等の体制を強化すると共に、患者さんにも、病気を患った時に適切な医療機関を選択して頂くようお願いしなければなりません。

そのためには、患者さんと病院との「連携」を築き、地域との関係機関とも手を繋ぎ、地域で「医療機能の分担」を推進し、安心して生活できる環境を地域全体で作ることが必要だと思えます。

最後に、東京都では救急事業の一環として、受診等に迷った患者さんに対して次のような情報サービスを提供しています。みなさまが適正な医療を受け、救急病院が分担と連携により本来の機能が発揮され、地域の健康が守られる事を願います。

- 東京都医療機関案内サービス「ひまわり」※毎日24時間
診療中の医療機関をご案内します。
TEL 03-5272-0303
- 東京消防庁救急相談センター ※毎日24時間
救急車を呼ぶが迷った時にご相談できます。
TEL #7119 23区 03-3212-2323
多摩地区 042-521-2323
- 小児救急相談
母と子の病氣、救急相談ができます。
TEL #8000 または 03-5285-8898
月曜日～金曜日 17:00～22:00 土曜・日曜日、祝日、年末年始 9:00～17:00
- 町田市医師会準夜急患こどもクリニック
症状把握のため、受診前に電話でご連絡下さい。
TEL 042-710-0927
※毎日 午後7時～午後10時(診療受付 午後9時30分まで)
【場所】町田市原町田5-8-21 健康福祉会館1階

えて 看護師さん

Vol.2



お見舞いの気持ち

私たちが病院に行く場合、自分が病気などで受診する以外に、家族・親族・友人などに面会することがあります。しかし、どうしたら良いお見舞いになるのか？ わからないなあ、と思った人はいませんか？

知合いが病気の時は、まず、ご家族に連絡を取り、面会でできる状況であるかどうかを聞いてください。病状が落ち着かない場合や、大きな検査などの予定があれば、とてもゆったりとお話できないでしょう。入院しているご本人の気分や性格もあり、「面会者が来ると気を使って疲れる」という人もいます。また、「体調が悪い姿を見せたくない」という人もいます。

もし、面会しても良いということであれば、病院の病室や病棟を確認しておいてください。今は、個人情報保護法がありますので、病院に行つて相手を探そうとしても、入院しているかどうかをお知らせできない場合もあります。

ある面会者のお話です。病棟のナースステーションに来られた男性が、「病室を教えて欲しい」と言われました。ところが、名前をうかがつても、「田中さんだよ、田中さん」と苗字しかわかりません。そして、「入院したんだから、ここだろうと思った」と言われ、聞いてみると、その見舞う相手は近所の方で、救急車を見たから市民病院に入院した

のだと思ったのです。当然、病棟も病室も、どんな状態かわかりません。もしかしたら、病院も違うかもしれません。この方のように、「自分が面会したから」という気持ちだけで連絡なく来られると、相手の入院場所がわからないということになったり、タイミングが悪かったりして、相手の方に会えずに帰らなければならない、ということもあります。



それから、たとえ面会に来てくださると言われても、あまりにたくさんの方で長時間会いに行くと、見舞いにいったのに相手を疲れさせてしまうことがあります。それに、個室であれば、まだ良いのですが、大部屋であれば、関係のない他の入院患者さんにとっては、大きな声や長い話声が負担になることもあります。時間外の面会も同じです。病室は、入院している人にとつては、生活の場所です。夕食が終われば、寝る準備をしたり、薬を飲む方もいます。そういうときに聞く、他人の話し声はとても不快な気分になるようです。同様に、小さなお子さんの大きな声、走る音、大人でも大声で笑う声などは、具合が悪く、横

になつている患者さまには、負担に感じられます。

女性で、香水を使っている方がいますが、つけている本人にとっては良い匂いも、他の人には合わないと感じることが良くあります。また、入院中であれば、食欲の出ない方、治療で気分の悪い方もいますが、そういう患者さまにとっては、特に匂いは気になるそうです。

それでは、お見舞いの時に持っていく品物はどのようなか。食べ物は、治療上、自由に食べられない方も多いですから、相手の事情がわからない状態では、お勧めできません。お花は、綺麗ですし、人をほっとさせてくれますが、水を入れ替えたり、手入れすることが意外と大変なので、あまり手間暇がかからず、匂いの強くないものが良いと思います。ただし、花粉のアレルギイがある人には、やめた方がいいですね。

これといって決まりがあるわけではありませんが、見舞う相手や、他の患者さまの負担にならないように、お土産ではなく言葉やお手紙で、開病されている方を勇気付けることをお勧めします。年配の患者さまが、お孫さんのイラストや「元気になる方と一緒に遊ぼう」といったカード、家族の写真などを病室に飾って、それらを見ては元気づけられ、喜んでいらつしやる姿には、こちらも嬉しくなります。やはり、何をするのも相手を思いやる気持ちが大切ですね。

(南8階 S・Y)

ヴォイス

Voice

皆様からの

声

Vol.2

声.003

入院中の支えや治療への励みとなる為に、図書室を病院に設置してほしい。

お答え

2008年5月、南棟の完成と同時に、9階に小スペースながら図書スペースを設置しました。蔵書の図書・雑誌は全て、市民の皆様から寄贈されたものです。5月当初は、棚の空気が寂しかったのですが、現在は棚に収まらないほど大変多くの寄贈を受け、嬉しい悲鳴を上げています。入院中、病室へお持ち頂けるよう、貸出簿を図書スペースの机上を用意しております。お持ち出しの際は、ご記帳をお願い致します。

市民の方々が、入院・外来で利用される皆様に寄贈された図書です。返却に御協力をお願いします。

読書のひとときを楽しんで頂けましたら幸いです。





フジテレビ報道局 解説委員、キャスター

黒岩 祐治 さん

vol.2
エッセイ
Essay

「扶正去邪」

最近、私自身がガン患者さんの相談を受けることが多くなっています。私が「末期ガンなのにステーキを食べ、苦しまずに逝った父」（講談社）という本を出版したからでしょうか、いかに多くの方がガンと闘っておられるか、改めて実感します。

私の父の末期の肝臓ガンは漢方との併用（中西医結合医療）によって、完治しました。腫瘍マーカーが16870（40以下が正常値）が34に減少したという経験は、「奇跡としか言いようがない」と多くの専門家は言います。

本を読んだ癌研有明病院名誉院長の武藤徹一郎氏は「劉先生の名人芸的漢方術（と私には思えます）をどうやって多くの医師に伝えるかが難しく、漢方が普及しない理由の一つはそこにあると思います。これからの若い専門家達の変化に期待したいです」と感想を送って下さいました。

武藤先生の言葉のとおり、父は劉影（リュウイン）先生という名医に診てもらったからこそ、たまたま幸運に恵まれたのかもしれませんが、西洋医学一辺倒の今の日本の医療が目指すべき方向はそこに見えているような気がするのです。

「扶正去邪」という言葉があります。正しいものを扶（たす）け、邪悪なものを取り去る、この両者のバランスが大事という漢方の哲学です。西洋医学は「去邪」が中心ですが、漢方はむしろ「扶正」に重きを置きます。医食同源は「扶正」にとって最も重要な考え方です。薬に頼り切るのではなく、食生活の改善を同時に進めることで、いのちのチカラを高めるのです。父は末期の肝臓ガンでしたが、「扶正」により自己免疫力を高めることで、ガンを完治させることができたのです。

私は父に起きた“奇跡”を一人でも多くの人に再現して欲しいと願っています。そのために書いた本です。ガンとの向き合い方で悩んでおられる方に少しでも光が見えるきっかけになれば幸いです。

黒岩さんとは以前から面識があり、テレビで医療をよくとり上げられていることからエッセイをお願いしました。黒岩さんの本では中西医結合医療にこれからの可能性を見えています。町田市民病院では「漢方」の外來診療（火木金）を設けていますが、それ以外は西洋医学を修めた先生方が新しい研究をとり入れつつ、がん治療に立ち向かい成果をあげています。エッセイは黒岩さんの個人的な体験を綴られたものですが、その思いを受けとめていた

「中西医結合医療」とは

西洋医学と漢方（中国伝統医学）双方の特長を生かした治療が行われる医学のこと。

黒岩さんのこと
町田市民病院事業管理者 四方洋

気ままに散策!!

ぶらり
BU RA RI

第2回

忠生公園

多摩丘陵の、丘陵地が浸食されて形成された谷状の典型的な谷戸地形を活かした、自然に恵まれた公園です。園内の「自然観察園」には豊かな湧き水がわいているほか、公園のほぼ中央にある「源流の池」は、鶴



- 「市民病院正門」からまちっこで相原方面へ12分「忠生公園前」下車100円
 - 「市民病院前」から町田29～31 26・27・34・36・38・39・45・60・62・66系統で5分「忠生公園入口」下車 210円
- お問い合わせ 042-792-1326

見川の支流・山崎川の源流となっているなど、水に恵まれた公園です。施設として「忠生がにやら自然館」があり、自然資源を活かした観察会や体験学習が行われています。

編集後記

第1号は病院の待合室、病棟などのほか図書館、公民館などに置いていただきましたが反響が大きく、部数が足りないほどでした。「こんなものを待っていた」との声もあり、勇気づけられました。悩んでいるのは字の大きさです。高齢者のためには大きくした方がよいのですが、それだけ情報量が減るのは確かです。見やすさか、情報量が、今回は少し活字を大きくしました。(S)

町田市民バス
まちっこ

「市民病院正門」発時刻表

相原方面

きみどり色のバス
10:34 14:39 17:39

「市民病院正門」乗車



小田急線/横浜線 のりかえ
「町田バスセンター」行
オレンジ色のバス

8:35	9:20	10:05	10:50	11:35	12:20
14:00	14:45	15:35	16:25	17:15	18:05



横浜線 のりかえ
「町田ターミナル」行
きみどり色のバス

9:30 12:47 16:57